報道記者、関係者各位

2019年11月26日 株式会社フルノシステムズ 広報室

フルノシステムズの無線LANアクセス ポイントを小牧市教育委員会が導入

市内小中学校の全教室に無線LANアクセスポイントを整備しWi-Fi環境を構築。授業での積極的なICT活用で児童生徒の興味関心を喚起。

株式会社フルノシステムズ(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:中谷聡志、古野電気㈱関連会社)は、このたび愛知県小牧市の小中学校のICT基盤整備において、業務用無線LANアクセスポイント「ACERA(アセラ)シリーズ」を導入いただきました。

小牧市教育委員会では、ICTを活用した授業の実施を推進しています。児童生徒や教員が使うタブレット端末やノートPCを接続するための無線ネットワークインフラを構築するため、2017年度よりACERAシリーズを順次導入・整備し、2019年9月現在、市内小中学校で合計800台近くのACERAが稼働しています。



■市内小中学校の全教室に動画対応アクセスポイントを設置

小牧市では、2017年度から校務支援用として職員室に無線LANアクセスポイント(AP)を順次導入しました。 続く2018年度に小学校、そして2019年度に中学校の全ての教室に、電子黒板などの大型スクリーンにタブ レット端末の画面や映像を投影する機能(ミラーリング機能)を備えるフルノシステムズの動画対応AP 「ACERA 950」を整備しました。

2019年9月時点で、小学校で427台、中学校で246台の動画APが稼働しています。校務支援用としては、汎用AP「ACERA 1010」が各校の職員室や校長室に合計116台設置されています。

同市では子どもたちの「時代を切り拓く力」の育成に注力しており、ICTはあくまでひとつの活用ツールとして位置づけられています。子どもたちが自然にICT機器を無線につないで使える環境の構築に、安定したネットワーク接続を実現するACERAが貢献しています。

報道記者、関係者各位

■モデル校4校がリードし効果的なICT活用を検証

小牧市では2019年8月から22年3月にかけて、「ICT教育モデル校事業」を実施しています。大城小学校や味岡中学校など、合計4校の小中学校を対象に進めるプロジェクトで、鉛筆やノートと同様に、ICTをひとつの道具・手段として効果的に活用する方法を検証します。モデル校がリードしてICT機器の利用環境や教育ソフトウェア・コンテンツの検証を進め、他校への効果の波及を目指します。





【小牧市教育委員会について】

小牧市は、名古屋市の北部に位置する人口約15万人の自治体です。市内には公立小学校が16校、中学校が9校あり、約1万3000人の児童生徒たちが学んでいます。小牧市教育委員会では、人と関わり合いながら学びを深める「学び合う学び」を基本とした授業を通して、子どもたちの時代を切り拓く力を育成しています。「学び合う学び」を実践する手段のひとつとして、ICTの導入と活用を進めています。あくまでもICTは鉛筆やノートと同様の位置づけであり、子どもたちが学習を深めるための道具・手段として使いこなせるように指導していく方針です。

■ホームページ http://www.komaki-aic.ed.jp/

※記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

【フルノシステムズについて】

フルノシステムズは、無線LANシステム分野のリーディングカンパニーです。無線ハンディターミナルをはじめ、無線LAN構築には欠かせないモバイル&ワイヤレスソリューションを提供しています。さらには、エンジニアリングサービス(ネットワーク設計、構築、管理など)までもサポートする事で、トータルなワンストップソリューションを実現します。無線ネットワーク管理システム『UNIFAS(ユニファス)』およびネットワーク機器『ACERA(アセラ)シリーズ』は、国内メーカーである高い品質と技術、充実したアフターサービスが評価され、オフィスや学校、公共施設においてシェアが拡大しています。

■ホームページ http://www.furunosystems.co.jp/

【問合せ先】株式会社フルノシステムズ

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル

【広報窓口】TEL:03-5600-5111(代表) 広報室 担当:鈴木/西村/川合

URL: http://www.furunosystems.co.jp/ Mail: webmaster@furunosystems.co.jp